

## 講演(04)

### 高速道路雪氷管理の将来展望

加藤 寛之

西日本高速道路株式会社保全サービス事業部保全グループ

西日本高速道路(株)は西日本地域の高速道路の建設・管理を行う会社である。

一般に西日本地域は雪氷と無縁な地域と思われがちであるが、例年、雪氷管理で悩まされているのが実情である。

特徴的なのは、放射冷却現象による局地的な気温低下、山間部で発生するゲリラ雪と呼ばれる異常降雪であり、事故や長時間通行止めの原因となることがある。

また、日常生活で冬用タイヤを必要としない地域が多く、雪氷に関する認識が高くないことから、雪氷が交通に大きな影響を与えてしまうのも特徴である。

雪氷作業内容及び体制は気象事業者からの提供される気象予測を元に決めている。

近年、雪氷作業を決める閾値周辺の気象予測となることが多いため、作業内容や体制を構築する判断が難しくなっている。凍結防止剤の散布は適切なタイミングで行わなければ効果がないため気象予測の役割は非常に重要なのである。

今後の課題は、局地的な気温低下や降雪を監視・予測する手法を確立して、気象予測の精度向上と作業体制の構築判断の合理性を追求することである。